

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : JIS G 3112 鉄筋コンクリート用棒鋼
: JIS G 3101 一般構造用圧延鋼材
: 大臣認定品、海外規格等製品
供給者の会社名称 : 東京鉄鋼株式会社
住 所 : 東京本社 東京都千代田区富士見 2-7-2 ステージビルディング 12 階
担当部門 : 経営企画部
電話番号 : 03-5276-9702
FAX 番号 : 03-5276-9711
緊急連絡電話番号 : 品質保証部 電話番号 : 0285-28-1491 FAX 番号 : 0285-31-1062

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 該当しない
その他危害の有害性 : 一般的な環境下では固体状態で安定しており、物理化学的危険性、健康有害性及び環境有害性はない。但し、重量物であるため、転倒、荷崩れ等に注意する必要がある。また、切断端面、切削屑等にて皮膚を傷つける場合がある。溶接、溶断、研磨等の加工時に発生する粉塵は呼吸器、目等を刺激する場合がある。

3. 組成及び成分情報

化学物質又は混合物の区別 : 混合物

主成分

| 成分 | 含有率(%) | CAS No.※1 | 化管法 管理番号※2 | 安衛法番号※3 | ICSC 番号※4 |
|----------|---------|-----------|---------------|---------|-----------|
| 鉄(Fe) | 残量 | 7439-89-6 | — | — | — |
| マンガン(Mn) | 2.00 以下 | 7439-96-5 | 412 | 550 | 174 |
| 銅(Cu) | 1.00 以下 | 7440-50-8 | — | 379 | 240 |
| クロム(Cr) | 0.60 以下 | 7440-47-3 | 87 | 142 | 29 |
| ニッケル(Ni) | 1.00 以下 | 7440-02-0 | 308 | 418 | 62 |

※1 CAS : Chemical Abstracts Service (化学物質登録システム)

※2 化管法 : 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善促進に関する法律

※3 安衛法 : 労働安全衛生法施行令第 18 条の 2、別表 9

※4 ICSC : International Chemical Safety Cards (国際化学物質安全性カード)

成分の含有率は、上表の範囲において製品規格・種類により異なる。上表の成分以外に珪素(Si)、磷(P)、硫黄(S)等の微量元素を含む。

4. 応急措置

通常時は固体であり、吸入、付着及び目に入る等の事態は起こらないが、製品の溶接・溶断又は研磨等の加工時は発生した粉塵を吸引すること、ダストが目に入る等の事態は想定される。又、溶接時のアークにより火傷を起こす事態は想定される。このような場合は、応急処置のあと、必要に応じて医師の診断を受ける。以下応急処置の事例を挙げる。

吸入した場合：加工時に発生する粉塵を吸入したため気分が悪い場合、新鮮な空気の場合に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息する。

皮膚に付着した場合：加工時に発生する粉塵が皮膚に付着した場合は、速やかに水で洗浄する。

目に入った場合：加工時に発生する粉塵が目に入った場合は、速やかに水で洗浄する。

飲み込んだ場合：加工時に発生する粉塵を飲み込んだ場合は、水を摂取し、速やかに口をすすぐ。

その他：アーク等により火傷した場合は、患部を冷やす。
切削屑等で皮膚を傷つけた場合は、傷口を洗浄する。

予想される急性症状及び遅発性症状：吸入：咳、眼：赤目

応急措置をする者の保護：情報なし。

医師に対する特別注意事項：情報なし。

5. 火災時の措置

通常時は固体のため、不燃性であり燃焼しない。

消火剤：通常の散水・消化器等の使用に制約はない。

特有の危険有害性：情報なし。

特定の消火方法：情報なし。

消火を行う者の保護：消火作業の際は、防護服、空気呼吸器等の適切な保護具を着用し、酸素欠乏及び有害ガスから身をまもる。

6. 漏出時の措置

通常時は固体のため、漏出しない。溶接、溶断、研磨等の加工時に発生する粉塵は吸引したり、目に入ったりするため、必要に応じて下記措置を行う。

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置：適切な保護具の着用により、粉塵の吸収や目への侵入を防ぐ。

環境に対する注意事項：切断・研磨等の加工時に発生する粉塵は、速やかに回収する。

封じ込め及び浄化方法及び機材：溶接、溶断、研磨等の加工時に発生した粉塵は、掃除機等で回収する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 溶接、溶断又は研磨等の加工を行い、粉塵を発生させる場合は適切な保護具を着用し、目や皮膚への接触や吸収を避ける。
- 安全取扱注意事項 : 重量物であるため、転倒、荷崩れ等に注意する。
切断部・切断屑は接触により皮膚を傷つけることがあるので、保護手袋を使用する等注意する。
取り扱い後は手を洗う。

保管

- 安全な保管条件 : 保管場所には貯蔵・取扱いに必要な採光、照明、換気に注意する。
結露等により錆を発生させることがある。
- 保管条件 : 水分、酸、アルカリもしくはこれらを含んだ物質との接触を避ける。
急激な温度変化、高温多湿の環境は避ける。
必要であれば、雨水浸透防止、錆防止のためのシート等、カバー・梱包を行う。

8. 暴露防止及び保護措置

通常時は固体のため、暴露防止及び保護措置に関する情報はなし。但し、溶接、溶断、研磨等の加工時に発生する粉塵は吸引したり、目に入ったりするため、適切な保護具を着用する。

- 呼吸器の保護具 : 適切な呼吸器保護具を着用する。
- 手の保護具 : 適切な保護手袋を着用する。
- 目の保護具 : 適切な保護眼鏡を着用する。
- 皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護服を着用する。
- 衛生対策 : 作業終了後は、手洗いを十分に行う。
加工時に発生する粉塵を吸入しない。また、目に入れない。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 一般的環境下では個体
- 色 : 酸化被膜色（黒）
- 臭い : なし
- 融点／凝固点 : 1500～1540℃
- 沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし
- 可燃性 : 該当しない
- 爆発下限界及び爆発上限界 : 該当しない
- 引火点 : 該当しない
- 自然発火点 : 該当しない
- 分解温度 : データなし
- pH : データなし
- 動粘性率 : 該当しない
- 溶解度 : 水に不溶
-

n-オクタノール／水分配係数：該当しない
蒸気圧：該当しない
密度及び／又は相対密度：約 7.85g/cm³
相対ガス密度：該当しない
粒子特性：データなし

10. 安定性及び反応性

安定性：一般環境下においては安定
危険有害反応可能性：強酸等の化学物質と接触すると有害なガスを発生させる可能性がある。
避けるべき条件／材料：高温多湿雰囲気、混蝕危険物質との接触。
混蝕危険物質：強酸、強アルカリ
有害な分解生成物：溶接、溶断、研磨加工時などにヒューム等が発生する。

11. 有害性情報

通常時は安定である。下記の有害性についての情報はなし。
(急性毒性、皮膚腐食性／刺激性、眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性、呼吸器感作性又は皮膚感作性、生殖細胞変異原性、発がん性、生殖毒性、特定標的臓器毒性(単回ばく露、反復ばく露)誤えん有害性)

12. 環境影響情報

通常時は安定である。下記の環境影響についての情報はなし。
(生態毒性、残留性・分解性、生体蓄積性、土壌中の移動性、オゾン層への有害性)

13. 廃棄上の注意

鉄スクラップとしてリサイクルする等、廃掃法、関係条例に従い、環境に配慮した適切な方法で処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制対象物質に該当しない。
重量物であるため、荷崩れしないようにする。
雨水等の浸透を防ぐため、シート等でカバーを行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法、
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)

16. その他の情報

本安全データシートは、日本産業規格 JIS Z 7253:2019「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS)」に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特別な取扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

記載内容は情報の提供であって、保証するものではありません。
